

情報セキュリティ心理学が目指すもの

～ 利用者中心のセキュリティ ～

一般社団法人 日本セキュリティ心理学会は、セキュリティを心理学や行動科学等の視点から研究、実践を推進することを目的として、設立しました。これを記念し、講演会、パネルディスカッションを企画・開催いたします。

日 時 2025 年 3 月 25 日 (火) 14:00～17:30
開場 (対面・オンラインとも) : 13:50

会 場 ワイム会議室 神田 (千代田区内神田 1-18-12
神田駅より、5 分 <https://waim-group.co.jp/space/kanda/>
オンラインは、WebEx にて配信

プログラム 14:05 講演 内田 勝也 なぜ、セキュリティ心理学か？
～ 総合科学としてのセキュリティ ～

15:15 特別講演 三輪 誠司
情報セキュリティにおける当事者意識

16:00 パネルディスカッション
角尾 幸保、畑上 英毅、内田 勝也

講 演 者 三輪 誠司 (NHK 解説委員)
内田 勝也 (情報セキュリティ大学院大学 名誉教授)

パネリスト 角尾 幸保 (東京通信大学 教授)
畑上 英毅 (ANA X セキュリティアーキテクト)
内田 勝也 (日本セキュリティ心理学会 会長)

参加申込み 3 月 23 日 (日) までに、下記より申込みください。
なお、参加多数の場合、申込みをお断りすることがあります。

<https://forms.gle/c9k9iRxmixtpFeFy5>

右の QR コードからも申込みできます。

参 加 費 無料

お問い合わせ secretary@isp-jpn.net

講演概要

特別講演 (三輪 誠司)

システムやセキュリティでは、組織内の職員は、最初から難しいと考え、外部に丸投げをしてしまう傾向がある。それで組織の安全を確保できるのだろうか？ もっと当事者意識を持って行うことで、安全・安心を確保できることを実践的に行った事例です。

講 演 (内田 勝也)

セキュリティを始めたのは、1980 年代中頃だったが、1993 年に米国で開催された民間でのセキュリティ会議に参加して感じたのは、国内では余りテーマにならない、人的 (心理学や行動科学による) セキュリティであった。非常に興味を持ち、それ以降、毎年参加してきた。



敬称略

